

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2024\_v1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)OTTO南芦屋 SM棟新築工事	階数	地上2F
建設地	兵庫県芦屋市海洋町4番11号の一部	構造	S造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	274 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年4月 予定	評価の実施日	2025年5月27日
敷地面積	7,655 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社UCM 田尻 元子
建築面積	3,478 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	6,842 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

標準計算: ①参照値, ②建築物の取組み, ③上記+②以外の, ④上記+

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.7

**LR のスコア = 2.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	BEIm=0.80を取得予定であり、ライフサイクルCO2排出率を抑制し、地球温暖化への配慮を行った	その他 特に無し
<b>Q1 室内環境</b>	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 建物の配置等まちなみへ調和し、植栽により良好な景観を形成している
<b>LR1 エネルギー</b>	BEIm=0.80を取得予定であり、建物の省エネに配慮した	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO2排出率を抑制し、地球温暖化への配慮を行った
<b>Q2 サービス性能</b>	配管の主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	節水コマ、節水型便器を採用し、地球温暖化への配慮を行った。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。  
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される